

開講年度	2023
開講semester	秋semester
科目コード	021050
講義名・クラス名	特殊講義(言語教育科目)
担当教員	布尾 勝一郎
履修の目安	<p>国際交流基金が実施する「日本語パートナーズ」に参加することが履修の条件となります。学内選考のうえ、国際交流基金に推薦します。国際交流基金の選考に合格した学生は、派遣前研修を経て、インドネシア共和国に派遣されます。</p> <p>以下の条件を満たすことが必要です。</p> <p>(1) 留学や海外旅行と異なり、公務を行う立場であることを十分にわきまえ、自覚ある行動が取れること。</p> <p>(2) 派遣先国への関心および基本的な知識を有していること。</p> <p>(3) アジアの社会、文化を学ぼうとする好奇心と謙虚さがあること。</p> <p>(4) アジアの人たちとの交流・コミュニケーションに情熱をもっていること。</p> <p>(5) 現地の先生のサポート役として活動ができること。</p> <p>(6) 厳しい環境の中でも生活できるバイタリティと柔軟性があること。</p> <p>その他の履修条件は、プログラム参加条件に準じます(募集要項を参照)。</p>
授業のねらい	<p>日本語パートナーズは、アジアに暮らす人々が、お互いのことをよく知り合い、ともに生きる隣人として共感や共生の意識を育んでいくための橋渡し役の一端を担う人材(外務省URL参照: http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/wakaru/topics/vol136/index.html)としての活動が期待されています。派遣先国で現地の日本語教師のアシスタントとして授業運営に関わる、また派遣先校で双方向的な文化交流活動を行う、といった活動を通して、自らの異文化適応能力の向上を図るとともに、お互いのことばや文化について深く考え、プログラムを通して学んだことを自分の言葉で発信できるようになってほしいと思います。インドネシアでの生活を体験することで、日本とは異なる環境(気候・住居・食事)の中で、周囲の人の協力を得ながら、自分なりに生活することができるようになることもねらいの一つです。</p>
到達目標	<p>日本語パートナーズとしての心構え</p> <p>①公的な活動を行う立場であることを十分にわかまえる。また、厳しい環境の中でも生活できるバイタリティ・柔軟性・チャレンジ精神、及び自助努力の精神、自覚と責任を持つ。</p> <p>②インドネシアの人々との交流・コミュニケーションへの情熱、及びアジアの社会、及び文化を学ぼうとする好奇心と謙虚さを持つ。</p> <p>上記の心構えで、現地日本語教師のアシスタントとしての業務に取り組み、以下の目標を達成できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣先で、現地に暮らす人たちの日本語や日本文化への興味を高める方法を考えることができる。 ・言語や文化背景の異なる相手とのコミュニケーション能力を高める。 ・派遣先の国の言語や文化に対する理解を深める。 ・異文化に出会った際に、自分なりに受け入れ、対処できるようになる。 ・異文化の中で生活・就労することを通じて、自文化を相対化して考えることができるようになる。 ・自分の活動を振り返りながら、計画的に改善することができる。 ・自分の経験や考え、学んだことを、自分のことばで発信することができる。
授業方法	<p>授業/実習</p> <p>【実習】 2023年8月～2023年12月(派遣先の都合により派遣時期が変動する可能性があります。) 実習中は以下の活動を通して、ことばと文化を伝えることを実践します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 現地の日本語教師が行う授業への協力 ② 授業の教材作成等への協力 ③ 授業や課外活動における生徒との交流(日本語での会話、文化活動への協力等) ④ 国際交流基金が実施する日本語教育事業への協力 ⑤ その他、現地要望に応じて、地域における日本語学習支援、日本文化紹介を通じた交流活動等 ⑥ 国際交流基金が実施する、各種広報活動への参加・協力 ⑦ その他、国際交流基金または派遣先機関が依頼する活動 <p>【帰国後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流基金本部で行われる報告会で、現地での実習について報告します。(2023年12月帰国後2か月以内) ・APU学内での最終プレゼンテーション(2024年1～2月予定)
成績評価方法	<p>P/F評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週間・月次報告書 30% ・中間報告書 30% ・最終報告書とAPU学内での最終プレゼンテーション 40%
学生への要望	
教科書	国際交流基金が別途指定する。
参考文献	国際交流基金が別途指定する。
備考	<p>【派遣前研修】 (「日本語パートナーズ」URL参照:http://jfac.jp/partners/overview/training/) 派遣前研修では、日本語パートナーズとして必要な知識と技術を身につけるために、以下のような内容で授業が行われます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① インドネシア語 ② 日本語教授法、日本事情関連 ③ 一般講義(東南アジアの歴史と文化、異文化コミュニケーション、ストレスマネジメント等)